

## 第6学年東組 家庭科学習指導案

学習指導者 芳我 清加

### 1 単元 「夏のくらしを快適に」

### 2 単元について

#### (1) 学びに熱中する子どもの姿と「思考力」の育成

##### 【育成したい「思考力」】

夏を快適に過ごすために、衣服の着方や住まい方を多面的に見直して課題を見だし、解決法を総合的に捉える力

自分の衣服の着方・住まい方に関心をもち、実験結果や資料、経験を基に、快適にする方法について友達と話し合いながら、解決法の長所・短所、短所への対処法を見だし、それらを生かして家庭生活をよりよくしようとする思いをもって具体策を述べている。

##### 【学びに熱中する子どもの姿】

本単元では、夏のくらしに焦点をあて、まず、自分の衣生活や住生活を日光や風、衣服の形・色・枚数、清潔さ等のさまざまな観点で見直し、「私は好きな色の服を選んでいる。だから、通気性や汗の吸収がよくないものもあるな。」や「窓を開けて涼しくしているけど、日差しが入って困っている。」等の課題を見いだす。そして、それらの観点で解決法を多様に探り、長所・短所の両面から比較・分析して「風通しのいい素材や形の服を選べば、湿気や汗もすぐに逃げて涼しいね。それでも、夏はたくさん汗をかくから、こまめに洗濯をすることで清潔に着られて快適だね。」や「グリーンカーテンやすだれで日光を遮る方法なら、風も通っていいね。設置できない窓は、風通しが少し悪くなるけれどレースカーテンも有効だよ。」等とより総合的に捉えていくのである。

本「思考力」は、上記のような学びに熱中する過程で育まれると考える。一つの解決法を採用する際には、得られる効果もある一方で、弊害が生じる場合もあると気付くとともに、それにどう対処すればよいかとさらに考えていくことが大切である。例えば、下着の着用について、実験や資料を手がかりに、「布があると蒸れた感じがなくていいね。」「でも、暑い感じはするよ。」と長所・短所を出し合ったり、「少しでも薄くて、さらっとした素材の下着を選べば涼しさと汗の吸収が両立できるよ。」と短所にどう対処すればよいかを話し合ったりするのである。このような過程において捉えた解決法を、自分の家庭生活のどこでどのように生かそうかと考え、自己決定する姿が学びに熱中する姿と考える。

#### (2) 子どもの意識の流れを大切にした単元構成について

快適な衣服の選び方や着方、住まい方の工夫は、感覚的、習慣的に何気なく行われることが多く、よりよい解決法を獲得・応用し、意図をもって実践しようとする意欲が高まりにくいという課題があった。本学級においても、私服選びは、保護者任せ、見た目重視、適当にという児童が37名中27名で、快適な衣服の選択や着方を、主体的に工夫して行っている子どもは少ないことが分かった。

そこで本単元では、自分の衣服の着方を意識的に見直すことや、それによって生じた課題や疑問を解決するための実験や話し合いを、単元内に繰り返し位置づけることで学習意欲を高めていきたいと考える。実験することにより実感を伴った理解が可能になり、無意識だった行動の根拠を科学的に捉えることができれば、「〇〇な場合は、△△という方法を実践しよう。」と主体的に考え、実行しようとするだろう。また、Q-Uの結果より、本学級の児童のほとんどは学級集団に親和的な雰囲気があると感じており、質問紙調査でも、疑問に思うことを解決する手段として、友達との話し合いを上げる児童が31名であった。これらから、実験結果を基にした話し合いを積極的に行うことが予想され、そこで様々な考えを交わすことは、自分の生活を見つめ直したりよりよい解決法を考え出そうとしたりする意欲喚起にも有効だと考える。さらに、従来の単元構成の中で、下着の着用に焦点化した時間を設けることで、「涼しさ」から「清潔さ」への意識転換を行い、洗濯の学習意欲も高めていくことができると考える。

(3) 単元計画と学習意欲への働きかけ (総時数 8時間)

次	主な子どもの意識	学習意欲への働きかけ
第 一 次	<p>①夏のくらしの特徴と課題を捉える。学習の見通しをもつ。</p> <p style="text-align: center;"><b>夏の生活を見つめよう</b></p> <p>衣食住のあらゆるところで夏用が変わったと増えた。</p> <p>家族へのインタビューや実験で、涼しい住まい方の工夫を調べたいな。</p> <p>涼しい服ってあるのかな？調べてみたいな。</p> <p>②涼しい場所探し 通風の実験</p> <p style="text-align: center;"><b>部屋を涼しくする工夫を見つけよう</b></p> <p>廊下側の座席は涼しいよ。 中央廊下や北校舎は涼しいよ。</p> <p>日光の入り方や風の通り方に関係がありそうだ。</p> <p>風の出入り口を作るように窓や戸を開けるといいと分かったよ。</p>	<p>① 本単元の大まかな学習内容(住→衣)を伝え、それぞれについて現状の自分の姿を書かせる。学習の見通しをもたせるとともに、自己の課題に気付かせることで、学習する必要感を高める。【表出(関連性)】</p> <p style="text-align: center;">評価規準(第1次)</p> <p>快適な住居は日光と風に関係があると捉えている。</p>
第 二 次	<p>③④涼しい着方の実験</p> <p style="text-align: center;"><b>涼しい衣服の着方の工夫を見つけよう</b></p> <p>白っぽい色にする。 半袖にする。 メッシュにする。 枚数を減らす。</p> <p>住居と同じで日光の熱を集めないことが大切。</p> <p>肌に風が当たるようにしたら涼しく感じる。開口部や布地の目を大きくすると効果がある。</p> <p>枚数が少ないと風が通るし、熱がこもらないね。</p> <p>自分で涼しい着方を考えたよ。下着を着るかどうかは意見が分かれるね</p> <p>肌が透けるのは嫌だから下着を着るよ。 上に着た服が肌にくっつく感じがするから下着を着るよ。 Tシャツ1枚が涼しくて気持ちいい。</p>	<p>①～⑦ 授業の最後に自分の生活に置き換えて「私なら・・・」と考える時間を設け、ワークシートに本時のまとめや気付いたこと、疑問に思うことを書かせる。また、学習した内容の理解度や生活に生かせそうかどうかという満足感を%で自己評価させる。それらについてコメントを返信することで、意欲喚起や課題意識の強化につなげる。【自己評価(満足感)】</p>
二 次	<p>⑤ 本時(5/8)</p> <p style="text-align: center;"><b>下着あり・なしで涼しさが違うのかを調べ、よりよい着方を見つけよう</b></p> <p>実験から、目に見えない蒸気が皮膚から出ていると分かったよ。</p> <p>下着なしで洋服を着ると、汗が直接付いて汚れていたよ。</p> <p>下着は蒸気や汗、汚れを吸い取って肌を清潔にしているし、洋服に直接つかないようにもしているんだ。</p> <p>夏は汗もかくから涼しさだけでなく、清潔さを考えることも大事なんだね。</p> <p>汚れるから毎日洗う必要があるね。洗濯のことも調べたいな。</p>	<p>④⑤ 「下着を着ることは、涼しくする工夫(枚数を減らす)と逆効果だ。」といった発言を全体に広げ、認識のずれに気付かせることで学習意欲を喚起する。【課題の設定(好奇心の喚起)】</p>
次	<p>⑥⑦洗濯の手順を知り、実習する。</p> <p style="text-align: center;"><b>どのようにすれば汚れがきちんと落ちるのだろう</b></p> <p>洗濯では、水と力と洗剤の3要素が大切なんだね。三つの働きが全部そろってはじめて、衣服の汚れは落ちているんだね。</p> <p>洗う→しぼる⇒すすぐの手順が分かったよ。洗剤で汚れをはがして、すすぎできれいに取り除くときれいになるんだね。</p> <p>わが家ではどんなことに気をつけて洗濯をしているのかな。</p> <p>涼しくする工夫、清潔にする工夫のどちらもマスターしたよ。</p>	<p>③～⑦ 実験・実習後の話し合いでは、自分の生活と繋いでいる児童の発言を称賛することで解決へのモデルを示す。【課題解決(満足感)】</p> <p style="text-align: center;">評価規準(第2次)</p> <p>衣服の快適な着方の工夫には、涼しさと清潔さに着目するとともに、適切な手入れが必要と捉えている。</p>
第 三 次	<p>⑧まとめ</p> <p style="text-align: center;"><b>夏のくらしを快適にする工夫をまとめよう</b></p> <p>衣・住どちらも日光と風が関係したよ。 洗濯のこつも紹介したいな。</p>	

### 3 本時の学習指導

#### (1) 目標

実験結果や資料，自分の経験等を基に下着の有無による長所・短所や短所への対処法を話し合う活動を通して，夏を快適に過ごすための衣服の着方を総合的に捉えている。

#### (2) 学習指導過程

学 習 活 動	子 ども の 意 識
<p>1 前時の学習を振り返り，本時の学習課題を設定する。 【課題の設定：好奇心の喚起】</p>	<p>衣服の色・長さ・形・生地・枚数が涼しい着方に関係していたよ。 着る枚数については，下着をどうするかで意見が分かれたよ。 私は下着を着るよ。透けるのが嫌だし汗を吸って欲しいから。ぼくは私服なら下着なし。Tシャツ1枚が涼しくて気持ちいい。 肌と服の間に1枚着るかどうかで涼しさに関係があるのかな。</p>
<p><b>下着あり・なしで涼しさが違うのかを調べ，よりよい着方を見つけよう</b></p>	
<p>2 不感蒸泄と布の吸湿性を実感し，下着の働きを捉える。 (1) 実験方法を知り，左右の手の様子や感覚を比較する実験を行う。 (2) 結果から分かったことを話し合う。【課題解決：満足感】</p>	<p>袋をかけたら汗が出るだろうな。左右でどう違うんだろう。 【下着ありの状況】左手は暑いけれど右手よりはいいな。ベトベトせず，さらっとしている。 【下着なしの状況】右手は袋がくもってきたよ。暑いしベトベトして気持ち悪いな。 肌からは汗だけではなくて，蒸気が出ていたのにはおどろいた。 下着があると汗や蒸気を吸ってくれて気持ちいいね。下着の締め付け感が嫌だな。下着がないと袋がくっついてくるよ。 下着の厚さや素材を工夫すれば，汗も吸うし，涼しくて楽なんじゃないかな。Tシャツは1枚で汗を吸うし，くっつかない。</p> <p><b>下着を着ることで汗は吸うけれど，枚数は増えるので涼しい生地選びが必要。着ないと涼しいけれど，汗への対策が必要だ。</b></p>
<p>3 資料を基に，汚れの付き方を比較し，下着の働きについて話し合う。 【課題解決：満足感】</p>	<p>蒸気や汗，汚れを吸っている衣服は結構汚れているだろうね。 【下着】予想通り汚れがいっぱい付いているね。 【下着ありの服】下着が吸ってくれるから汚れが少ないね。 【下着なしの服】下着と同じ状態。汚れが服に直接付いているんだ。</p> <p><b>肌から出た汗や汚れを服に付けないという役目をしているんだね。</b></p>
<p>4 自分の生活に当てはめて考え，衣服の着方をどのように工夫するかをまとめる。 【自己評価：満足感】</p>	<p>私はいつでも下着を着る。汗や汚れを吸ってくれる物がないと上の服が汚れる。さらっとした夏用の下着を着て，涼しさと清潔さを両立したいな。 制服は生地が薄くて，透けたり汗がしみるのは嫌だから下着を着る。でも，私服の時は涼しさを優先したいし，毎日洗濯しているから下着なしでもいい。</p> <p><b>快適さには，涼しさと清潔さの両方が必要だね。</b> <b>汚れた衣服の洗濯の仕方を知りたいな。</b></p>

### (3) 本時の働きかけの実際と目指す子どもの姿

#### 前時までの子どもの意識

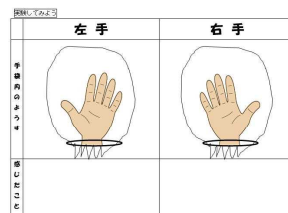
子どもたちは、布の厚さや種類、衣服の形や長さ、色、枚数等、さまざまな観点から涼しい着方の工夫を見いだしている。着る枚数については、少なくするには限界があるため、「下着を着る派」と「下着を着ない派」の二つに意見が分かれ、互いの考えを交流している。

#### 学習活動 1

導入では、「下着については意見が分かれていたね。〇〇さんは『下着を着ると、着る枚数が増えて涼しくする工夫と矛盾する』と理由も話してくれたね。」と子どもの反応を全体に広げることで、これまでの認識とのずれに気付かせ、学習意欲を喚起したい。そして、前時に出し合った着る派・着ない派の考えを再度語らせながら、人体模型に下着や服を着せて見せる。肌と外衣の間に下着を挟んでいることを視覚化し、下着の有無に焦点化していきながら学習問題を設定する。

#### 学習活動 2

手袋とビニール袋を用いて左右の手で異なる衣服内気候を作り、体感しながら比較できる実験を行う。左手には、布手袋の上にビニール袋をかけて下着ありの状況に、右手にはビニール袋のみをかけて下着なしの状況を作りだす。実験方法は、黒板とワークシートに絵で示しておき、見通しをもちながら戸惑うことなく全員が実感できるようにする。また、下着あり・なしの違いとそれぞれの長所・短所を対比しながら捉えられるように、板書も左右で区切り、表にまとめながら構造的に示す。その際、「下着なしで、上の服がべたべたしたことがある」等、自分の経験と結び付けて考えている児童の発言を称賛するとともに、「どうすれば涼しさと清潔さを両立できそうか」を問うことで、短所への対処法を見いだしていけるようにする。



#### 学習活動 3

学習活動 2 において、下着の働きの一つである「湿気や汗を吸い取る」を共通理解したのち、「下着を着る・着ないで考えが変わる人はいますか？」と問いかける。変わる場合は、その児童を指名し、変わる者がいない場合は「着ない派」の児童を指名して理由を語らせる。その際に出されるであろう「下着なしでも、汗を吸ってくれるTシャツなら1枚でかまわない」等を取り上げ、「汗をかいた後の服はどんな状態だと思う？」と問う。予想される反応として、「汚れていると思う」「くさい」等が出た後、ニンヒドリン水溶液で汚れを視覚化した①下着②下着ありで着用した服③下着なしで着用した服の3種類を提示する。その際①と②を組み合わせ提示し、③と比較させることで、二つ目の働きである「外衣に汚れが付きにくくなる」ことが捉えられるようにする。このような課題解決の過程により、「涼しさ」に加えて「清潔さ」へも意識が広がるようにすることで、衣服のよりよい着方を総合的に捉えるとともに、次の洗濯の学習へも意識の流れを繋いでいけると考える。

#### 学習活動 4

単元を通して活用している「学びの足あと」に、本時の学習の理解度や生活に生かせそうかどうかという満足度を%で示し、次時に学習したいことや「私なら・・・」と自分の生活に繋いで本時のまとめ記述する時間をとる。自分の成長やまだ課題として残ることを実感させるとともに、称賛のコメントを返すことで、次時への学びや実践化への意欲を喚起していく。また、洗濯の必要性に気付いている児童を意図的に指名することで、次時以降の学習に対する見通しを全体にも広げ、洗濯への意欲も高める。

### (4) 総括的評価

下着の有無による着心地や汚れの付着の違いを比較し、下着を着ることによる長所・短所及び短所への対処法等を考慮しながら、生活の中で実践しようと思うことを具体的に記述している。

<例>汗がしみたり、肌が透けるのは嫌だから私はいつでも下着を着ます。でも、暑くならないように、下着の素材をドライ機能のあるものやタンクトップ型にします。下着は汚れを取ってくれるので、毎日洗濯して清潔に過ごしたいです。 【方法：ワークシートの記述，発言】

第6学年 夏のくらしを快適に (第5時)


6/20 (学) 下着ありなしのちがいを調べ、よりよい着方を見つけよう。

**2枚以上**

石川 小谷 寺本

多摩 長尾 中條 後藤  
美鶴 十川 宮武 高橋  
今井 清水 福田 小田 植里  
今治 谷口 福井 明石 山下  
宮本 長谷 中村 香川 園重

**左手**  
下着あり



- ・肌にあつい
- ・ふくろにつかない
- ・うごきやすい
- ・温度低いから


上の服には汗だけ  
下着に汗がつく

	下着を着る	下着を着ない
<b>良いこと</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・汗が肌にくっつかない</li> <li>・汗を吸収してくれる</li> <li>・上の服が汚れない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一枚だからすずい</li> <li>・動きやすい 反転しやすい</li> <li>・着がえは早い</li> </ul>
<b>困ること</b>	<p>あつい 熱こもる</p> <p>風通しが悪い</p> <p>解決する商品もある</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・汗が服につく</li> </ul>
	<div style="background-color: #ffcc00; padding: 5px; display: inline-block;"> <b>どうにかする</b> </div>	

**1枚だけ**

十川 村上  
島田 谷川 堀池  
豊野 橋本 三宅  
赤澤  
古川 大山

**右手**  
下着なし



汗

使い分ける

両立

- ・手汗たくさん
- ・ふくろにくっつく
- ・べたつく
- ・ふくろがくもる

毛穴から水蒸気

服に汗が全部つく

補助黒板

向かい合う窓・戸



風の通り道

通風




**共通**

すずい住まい方の工夫

- ① 風が通るようにする
- ② 日光をさえぎり かげをつくるようにする
- ③ 湿気を少なくする

すずい衣服の えらび方・着方の工夫

- ① 風が通るようにする 肌を出すようにする
- ② 日光をさえぎる

両立させるには工夫が必要

- ・形… ブカブカ
- ・枚数… へらす
- ・そで、たけ… 短く
- ・布地… サラサラ、うすく 布目大
- ・開口部… 大きく開ける
- ・色… 白、うすい色
- ・麦わらぼうし ← 風通し

・冬と比較 実験(確かめ)

涼しくする工夫	長 所	短 所	わが家では
			
			
			
			

--

実験1： 送風機で布に風を送り，風通しの違いを調べよう。

	A 布目が大，うすい布	B 布目が小，分厚い布	C：Aを4枚重ねる
のびる速さ			
考察			

実験2： 布地の色を変えて比べよう。

	白色	水色	青色	赤色	黒色
温度					
考察					

実験3： 色の違いで着た感じを比べよう。

	黒色	白色
50秒日光に当てる		
考察		

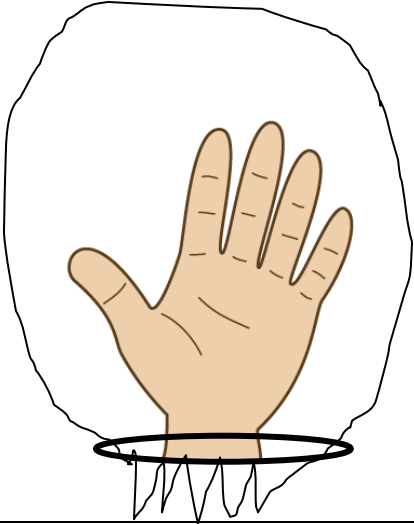
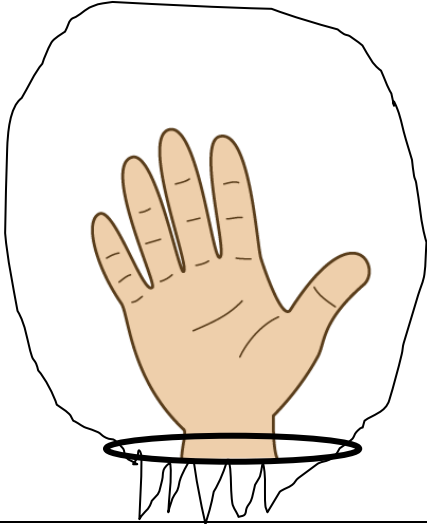
実験4： ぼうしの効果を調べよう。

	あり	なし
温度		
考察		

実験5： 布地の素材と厚さを変えて比べよう。

	Tシャツ素材の手袋	セーター素材の手袋
入れて50秒		
考察		

実験で確かめよう

	左 手: 下着あり	右 手: 下着なし
手袋内のようす 絵・文		
感じたこと		

資料から考えよう

